

# 利賀っ子だより



R 3 . 5 . 1 4

## ○ 小中合同運動会に向けて最終段階

13日に予行練習を終え、練習も準備も最終段階に入りました。

鼓笛演奏が心配だという子供をきっかけにこんなやり取りがありました。

Aさん：「6年生に相談して、昼休みにみんなでグラウンドで練習をすることにしました。」

Bさん：「ぼくは、昼休みは、遊びたい。」

Cさん：「(昼休みは) 委員会の仕事をしようと思っていたのに。」

Dさん：「せっかく利賀に来たし、利賀での遊びをしたい。」

Eさん：「運動会が終われば、また遊ぶ時間ができると思うよ。」

Aさん：「せっかく見に来てもらうのに、(列が)バラバラだったらがっかりされる。」

Fさん：「みんなで練習しないと(列をそろえる練習の)意味がない。」

Cさん：「そうだな。」

Dさん：「まあ、いいか。分かった。」

Bさん：「ぼくは、遊びたい。」

その時は、昼休みに練習をすることに全員の合意が得られず、練習したい人が集まることで皆が納得しました。

昼休みにグラウンドを見ると遊びたいと主張していたBさんも練習の中に入っていました。Bさんに聞くと「遊びたかったけど……。でも、やると決めた。」とのことでした。



## ○ 低学年だってできる！

金曜日の5限は、運動会の準備の時間でした。3年生以上は中学生と一緒に係の仕事の最終打合せをしたり、道具や用具の確認をしたりしました。1・2年生は、雨天の場合を想定してアールパス体育館玄関の清掃を担当しました。

「お客さんがここから入って……」「この階段から上に上がるから、ここも。」「椅子も拭いておこう。」「まだ時間があるから、次は……。」と相談しながら清掃活動をしていました。「お客さんのことを考えていてすごいなあ。」と声をかけると「低学年だってできる。」と返ってきました。



鼓笛の練習も低学年の掃除も「やらされる活動」ではなく「やりたい活動」だったことに価値があるなと思いました。

(校長 高田 公美)